

|| 編集後記 ||

富大比較文学第七号には、二〇一三年度卒業生の荻村成昭さん、表千尋さん、高藤実代さん、利長明日海さん、青井詩織さんの論文を掲載することに編集委員会で決定しました。寄稿いただいた皆さんに感謝申し上げます。

おかげ様で劇団比較文学の方も、記念すべき第十回の上演を迎えることになり、今年は萱野二十一の「父と母」を街中にあるフォオルツア総曲輪のライブホールで上演しました。この上演は、「学生が企画した魅力的・独創的なプロジェクト¹⁴」に選ばれました。学生達はもちろん、多くの方々に協力していただき、萱野二十一の独特な世界観を再現しました。卒業生も観劇に駆けつけてくださり、御礼申し上げます。演劇の上演によって、まちなかと富山大学比較文化のつながりがさらに強くなっているように感じ、大変嬉しく思いました。

「富大比較文学」第七集が研究面でのつながりを広げ、深める一助になることを願ってやみません。今後の発展に向けて、さらに精進していきたいと存じます。ご意見、ご批評をぜひ富大比較文学会にお寄せいただきますれば幸いです。

(小堀麻実／廣川歩実)

富山大学比較文学会会則

第一条 この会は富山大学比較文学会と称し、事務所を富山大学人文

学部比較文学・比較文化研究室(富山県富山市五福三二九〇)に置く。

第二条 この会は会員相互の協力により、比較文学・比較文化研究を進めることを目的とする。

第三条 この会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1 研究発表会、公開講演会などの開催。
- 2 機関誌、会報などの刊行
- 3 その他、会の目的を達成するために必要と認められる事項。

第四条 この会の設立の趣旨に賛同する富山大学比較文学・比較文化の教員および在学生、院生、卒業生、修了生をもって会員とする。この他、この会の設立の趣旨に賛同するものをもって会員とする。

第五条 前条の会員は一般会員および維持会員をもって組織する。

富大比較文学 第七集

二〇一四年十二月十二日発行

編集人 富山大学比較文学会編集委員会

発行人 富山大学比較文学会

代表 金子幸代

発行所 富山大学人文学部比較文学・比較文化研究室

富山県富山市五福三一九〇

〇七六一四四五―六一九二(研究室 直)